

Injury Alert (傷害速報)類似事例

高吸水性樹脂球の誤飲による腸閉塞 (No109 高吸水性樹脂球の誤飲による腸閉塞の類似事例 5)

事例	基本情報	年齢：5歳 性別：男児 体重：14.6kg 身長：103.5cm
	家族構成	父(47歳)、母(37歳)、兄(9歳)、姉(6歳)、本児
	発達・既往歴	特記事項なし
臨床診断名		高吸水性樹脂球の誤飲による腸閉塞
医療費		入院 1,259,460円 外来 4,100円
原因対象	対象名称	高吸収性樹脂球（何種類かを組み合わせて使用していた。膨らむ前は数mm程度で、膨らむと2-3cm大になる、図1）
	入手経路 使用状況	100円均一ショップで購入(複数の店舗で)し、以前から複数回、同胞と本児が入浴中に膨らませて遊んでいた。膨らんだボールを使って屋外で遊んだりもしていた。未使用のものは両親が管理していたが、使用後は子どもたちで管理していた。
発生状況	発生場所	自宅の風呂
	周囲の人 周囲の環境	姉と入浴していた。両親は浴室にはいなかった。
	発生年月日	2022年3月X日(日)
	発生時の 詳しい様子 受診までの経緯	X日夕方、本児と姉は入浴時に大量の高吸水性樹脂球で遊んでいた。その後も、X+5日に、本児が対象物をかじっていたという姉(6歳)の目撃情報はあるが、両親は確認していない。X+7日に嘔吐、腹痛が出現した。医療機関Aを受診するも胃腸炎として帰宅となった。X+9日に、症状継続するため再診し、医療機関AでCT検査(図2)を施行し、腹水を伴う腸閉塞として同日医療機関Bへ紹介受診となった。

<p>医療機関受診時以降の治療経過 転帰</p>	<p>医療機関 B 受診当日に腹部超音波検査で小腸内異物を確認した(図 3)。当初、対象物を誤飲したエピソードはなかったが、改めて病歴を聴取すると上記の内容が出てきたため、高吸水性樹脂球の誤飲による腸閉塞と診断し、同日に緊急手術を施行した。手術に関しては、臍上に小切開を加え開腹し、小腸を創外部に挙上して観察したところ、腸管外壁から異物を同定できたので(図 4)、同部位に長軸方向に切開を加え、異物を摘出した。その後、拡張腸管の内容物を全て回収した。X+12 日までの排泄物も全て含めて、その他の異物は腸管内に認めなかった。術後は閉塞性腸炎、麻痺性イレウスを認めていたものの、減圧・抗菌薬加療で改善し、X+13 日日から食事開始し、X+18 日に退院となった。外来通院中は経過良好で合併症は認めなかった。</p>
<p>キーワード</p>	<p>高吸収性樹脂球、水で膨らむボール、異物誤飲、腸閉塞</p>

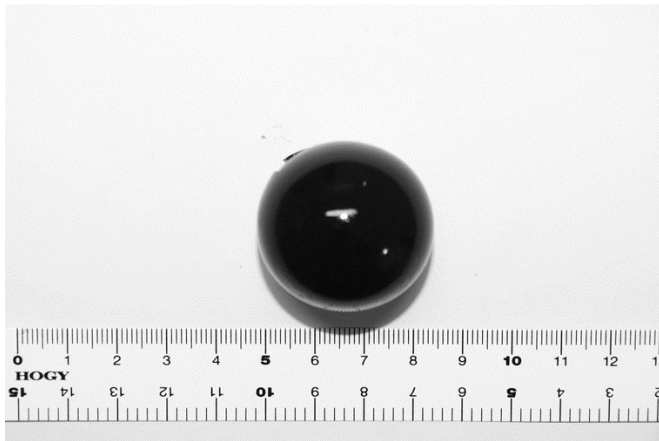


図 1 膨らんだ後の高吸水性樹脂球

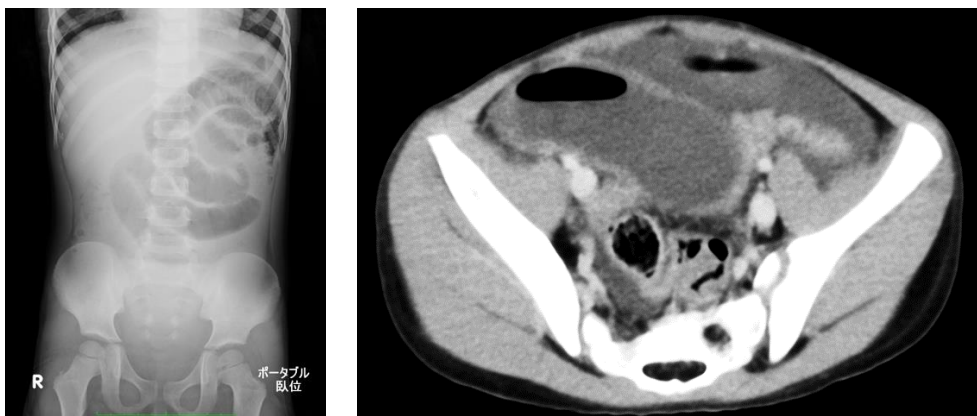


図 2 腹部単純 X 線写真と CT 検査 (腸閉塞疑い)



図3 超音波検査 (3.4cm×2.8cm の異物)



図4 術中所見 (腸管内に異物を認める)